

授業の概要	(内容) 2年次から引き続きの授業であり、より深化した内容です。航海を学習する上で重要なのは、常に現在位置を知っておくことです。2年次は陸上物標を利用し、3年次は天体を利用し、船位を求める学習をします。		到達目標	大型船舶の運航に必要な航海計器類の操作法や、船位の求め方および海図の取り扱い方を学習し、5級海技士（航海）の筆記試験合格の到達レベルを超えるよう授業を進めます。	
	(形態) 講義				
年間の授業計画		項目	内容		
	一学期	4	航海計器（六分儀など） 乗船実習 " "	・六分儀の各部名称、誤差、使用法を学習します。	
		5		・学校で学習したことを実習船で実践します。	
		6		・（船位の求め方、海図の使用法、航路標識など）	
		7			
	二学期	9	天体（太陽・北極星）の高度を観測して緯度を求める 視正午の緯度の求め方 北極星緯度法	・水路図誌の使用法を学習します。	
		10		・六分儀を使い天体の高度を観測します。	
		11		・計算方法を学習します	
		12		・緯度を求め位置記入図の使用を学習します。	
	三学期	1	航海計画	・出入港の方法、針路線の引き方、各種物標の利用の仕方について学習します。	
		2			
		3			
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次からの継続授業です。週2時間の授業の割に学習の内容は豊富です。 ・計算問題が多いです。難しい事はありません。根気が重要です。 ・航海計算は計算器を使用します。機種により機能も使用方法も異なります。取り扱いに慣れるようにしましょう。 ・不明な点はすぐに質問し、その日のうちに理解するように努めましょう。 				
評価方法	ペーパーテスト70%		平常点30%		
	中間・期末考査の成績を総合した得点で評価します。 5級海技士国家試験程度の問題で、授業での練習問題の基礎から応用問題まで幅広く出題します。計算器を使用しても差し支えありません		出席状況や授業への意欲・態度を見て、総合的に評価します。 授業に対する積極性 ノート作成・提出状況 練習問題への取り組み		
教材	教科書 『航海・計器』（文部科学省） 副教材 『天測暦』（海上保安庁） 『天測計算表』（海上保安庁）		アドバイス	船を好きになる事が一番です。始めは船乗りとして知っておくべき事項を学習します。専門知識や技術を習得することは重要です。それとともに協調性を養い、強靱な体力を作ることも重要です。そうすれば自然に知識や技術も身に付きます。	